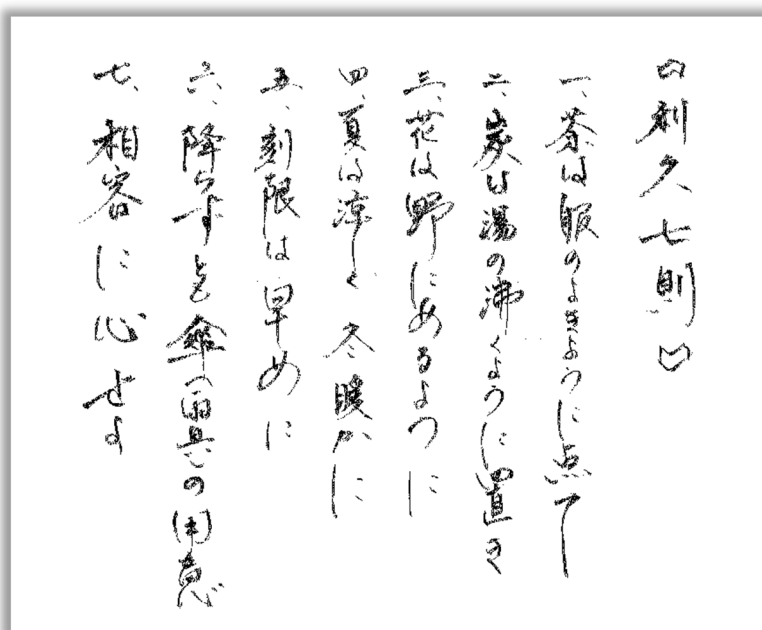


青工研かわら版 7月号 vol 1



第1ブロック 中間決起大会

テーマ 喜びの探究！ 4～喜びにピントを合わせろ！～



開催日 2022年7月11日
時間 19:00～21:40
開催場所 相模原市橋本公民館
講師 茶道裏千家
教授 座間宗恵（ざまそうけい）先生

ブロック会の目的と手段

本ブロック会は、中間決起と位置付け、「おもてなし」や「ホスピタリティ」について、茶道という文化を通して、ブロック員各自が自身・自社に必要なおもてなしの心について考え、自身が探究すべき喜びのイメージをより明確にする為に開催されました。



講師としてお招きした座間先生から、初めに「利休七則」を基に、おもてなし、気配り、配慮等について、講義を受けました。



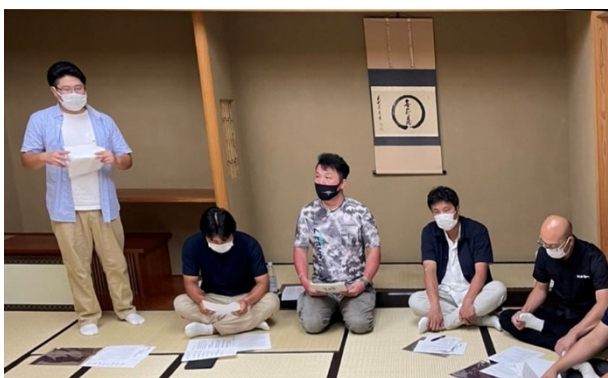
茶道を通じて学んだ事（ブロック長コメント）

先生から教えて頂いた「利休七則」等から、ブロック員がおもてなしの心や、自身・自社に活かす事の出来る考えを感じ取りました。

利休七則

- 一、茶は服のよきように点て
- 二、炭は湯の沸くように置き
- 三、花は野にあるように
- 四、夏は涼しく冬暖かに
- 五、刻限は早めに
- 六、降らずとも傘の用意
- 七、相客に心せよ

ブロック員からは、今まで配慮や謙虚さが足りていなかった、今後、五感を更に鍛えていきたい、全ての事に理由がある事を今一度考える等の発表があり、多くの学びや気づきがありました。



大井ブロック長より

喜びの探究をしていく上での、心構えやヒントを掴んで貰えたと思います。また、利休七則という「共通の心構え」がブロック員の中での出来た事は、今後の活動の上で、お互いを高め合う為の良きツールとなったと思います。

今回学んだ事は「相手が何を求めているかよく考える事」、「時間を守る事」、「常に事前の備えをする事」等、日々の中で当たり前の様に実践すべき事ですが、完璧に実践していくのは非常に難しい事であると思います。そこをどれだけ意識して、根気強く実践して行けるかが、おもてなしの心、ひいては喜びの探究に繋がると思います。これを忘れない様に要所々々で声掛けを実施し、最終の成果発表まで活動を続けたいと思います。

記者としての感想

記者：大谷勇樹

茶道を経験して、場を用意する「掛け軸」や「花」の1つ1つに、人をもてなす「心得」や「所作」が込められていることを知り、全ては、お客様に対するおもてなしやホスピタリティに通じると感じました。

ブロック員は、経験した茶道を通じて、お客様に対する自身の行動や想いを振り返り、今後、お客様に喜んで頂く為の具体的なイメージを掴む切っ掛けになったと思います。